

野 地 第179号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

岩手県野田村長 小 田 祐 士



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）
平成20年9月19日付国道企第37号をもって依頼ありました標記について、別紙のとおり回答します。

- 1 マスコミ報道等されているような「無駄使い」とされている問題について、徹底的に排除し国民の目線にあった納得のできる経費の執行を行うこと。
- 2 道路整備は、大都市及びその近郊では終了したかもしれないが、当地域は高速交通網をはじめ道路整備全体が立ち遅れていることから整備が必要である。
- 3 道路特定財源の一般財源化が平成21年度から実施されるが「地域における立ち遅れている道路整備」を着実かつ計画的に推進し、安全で安心な地域づくりを実現するため、道路整備予算（財源）の確保がぜひ必要である。
- 4 道路整備に係る「費用対効果」の設定基準項目を全国一律でなく、地域における地理・地形等特殊事情を勘案することが必要である。
- 5 地方道路整備臨時交付金制度は、自治体の道路整備にとって有効な制度であり同制度の拡充と更に使いやすい制度となるような改善を望む。

②-1 地域の現状と抱える課題

岩手県 野田村

○現状

道路は、生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、活力ある地域づくりを推進し、安全で安心できる地域の実現には社会基盤である道路を計画的に整備することが重要である。

県内の幹線道路としては、東北縦貫自動車道等は整備されているものの、これらの高速交通体系へのアクセス道路が不十分である。

本村における道路整備は、未だその整備が立ち遅れており、県内外との格差を是正し活力ある地域づくりを推進するためには、八戸・久慈自動車道や三陸北縦貫道路、三陸縦貫自動車道をはじめとした高規格幹線道路の早期整備の促進が必要である。

また、広域的な道路網は、国道45号が南北に縦走し幹線道路となっているほか、主要地方道野田山形線、一般県道野田港線、野田長内線、安家玉川線の4路線についても併せて整備促進する必要がある。

村道の整備についても、幅員の狭隘及び歩道設置等の整備が立ち遅れていることから緊急性の高い路線から計画的に整備していくとともに、誰もが安全・安心できる道路空間を形成する必要がある。

○課題（施策の方向）

① 高規格幹線道路網等の整備

東北新幹線や東北縦貫自動車道八戸線などの高速交通体系へのアクセス道路の整備と、八戸・久慈自動車道及び三陸北縦貫道路、三陸縦貫自動車道路の整備促進

② 広域幹線道路網等の整備

○国道281号の平庭高原のトンネル化など地域高規格道路としての整備促進

○主要地方道野田山形線の拡幅整備、一般県道野田長内線高潮対策及び安家玉川線拡幅改良整備

③ 生活道路網の整備

○生活関連道路及び通学路の歩道付き拡幅改良

○地域振興・産業振興に資する道路整備

④ 道路環境の整備

○冬季間の安全な交通の確保

○地域住民と連携を図り、道路の適正な維持管理を行い、バリアフリー化など人にやさしい道路環境の整備

②-2 地域の目指すべき将来像

岩手県 野田村

②-1 の課題（施策の方向）で記述したとおりであるが、国道45号の改良整備や高規格道路である八戸・久慈自動車道及び三陸北縦貫道路・三陸縦貫自道路を一体とした早期完成されることにより、当地域における次の重要なことが図られる。

- 救急救命活動及び高度医療が必要な緊急時に「いのち」をつなぐ道
- 地域活性化や観光・物流交流のための道
- 災害時（土砂・津波・大雨洪水等）に備えた迂回路等危険回避の道

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

岩手県 野田村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・高規格幹線道路網の整備	八戸・久慈自動車道及び三陸北縦貫道路の整備	・ 高度医療が必要な緊急時において、都市医療機関まで迅速な搬送が可能となり、救命率の向上が期待される。 ・ 人的・物的交流の拡大により、観光面・企業誘致等の産業経済の活性化が図られる。 ・ 自然災害時のう回路としての代替路が確保される。	
・広域幹線道路網の整備	国道281号の平庭高原トンネル化等地域高規格道路整備促進	・ 行財政の要である県都盛岡市までの90分構想の実現と沿線関係市町村における内陸と沿岸連携による産業経済の活性化が図られる。	
・生活道路網の整備	生活関連道路並びに通学路の拡幅整備	・ 歩行者と通行車輛の共存と冬季間の安全な交通の確保が図られ安全・安心な道路環境が期待される。	